

# 進路だより

令和6年度 第2号  
令和7年3月発行

## <訪問・施設内 就業体験・校内実習>

高等部訪問教育では、1年時は体験実習や校内実習、2・3年時は就業体験や校内実習に取り組んでいます。2年生の取組を紹介します。生活介護施設の一日の流れに合わせて就業体験を行ったり、校内実習に参加したりしました。就業体験では、午後から理学療法士さんに施設のベッドで過ごす姿勢について相談し、アドバイスをいただきました。初めての就業体験でしたが、落ち着いて過ごすことができました。校内実習ではカレンダー作りを行いました。スイッチを押すとバーが動く

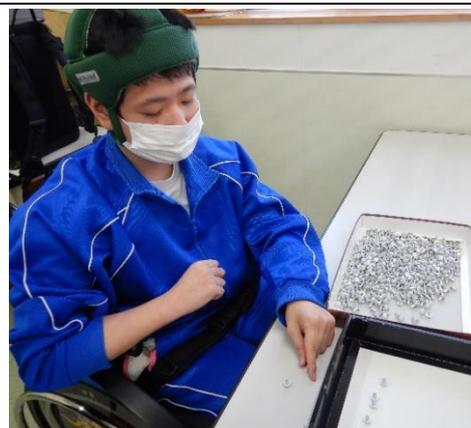


く装置を使い、両面テープをめくる作業に取り組みました。長い時間、集中して頑張りました。

## <中学部 チャレンジ体験>

中学部では、毎年ABグループの3年生が作業所やお店などで実際に作業を体験するという「チャレンジ体験」を行っています。今年度は12月に生徒3名が「ワークス岩西」で、午前10時頃から午後2時30分まで休憩をはさみながら1日作業を体験させていただきました。初めて会う方々の中で、学校では経験できない緊張感のある中で活動することができました。また全員が予想以上に集中して作業を継続することができました。作業終了時には、「疲れた～」と言いながらも達成感の表れた満足そうな笑顔が見られました。

その後、校内の作業学習では今までより積極的に活動したり、教室では高等部卒業後の作業所のことを話題にしたりする生徒も見られ、働くことや高等部卒業後の生活について考える良い機会になったようです。また、さらに新しい課題も見つけることができ、大変有意義なチャレンジ体験となりました。



## < 中学部 校内実習 >

中学部 B グループは、週 2 回の作業学習と年に 2 回の校内実習を行っています。今年度の実習では、昨年度より期間が 1 日増えて火曜日から金曜日の 4 日間の実習を 7 月と 2 月に行いました。通常の作業学習では 1 時限目の後半から 3 時限目までの作業です。しかし、校内実習は 1 時限目後半から 6 時限目まで作業です。7 月の実習では午前中の休憩が 2 回ありましたが、2 学期に生徒たちの成長が見られたため、2 月の実習では午前中の休憩を 1 回にして実施しました。

7 月の実習では、集中力が途切れる場面がありましたが、2 月は全員がとてがんばり、個人目標を達成して、製品も目標を大幅に上回る数が出来上がりました。「疲れたけどまたやりたい。」「高等部についても作業をがんばりたい。」などの発言も聞くことができ、生徒たちの成長を感じることができた 1 年でした。



## < 高等部 卒業生紹介 >

令和 5 年度に卒業した大平智也さんの働く様子取材しました。

智也さんは、卒業後、豊橋市西高師町にある aille(エール) という事業所に 5 日間、通っています。aille では、午前中はゴム裂きの作業をし、午後は 2 階のテラスを歩いて体づくりをしたり、他の利用者さんと一緒に余暇活動を楽しんだりしています。

職員の方にお話を伺うと、通い始めた当初は、作業の途中で疲れて手が止まってしまうこともあったそうですが、今では職員の方と一緒に目標を決め、その目標に向かって黙々と作業に取り組んでいるそうです。訪問させて頂いた日も、机に置かれた、たくさんのゴムを一つ一つ丁寧に裂き、その後、裂いたゴムをまとめて籠の中に入れていました。姿勢よく、とても集中して作業に取り組んでいる様子が印象的でした。

智也さんは aille で、がんばるときと楽しむときのメリハリをつけて生活し、職員の方の言葉がけにも励まされ、休むことなく元気に過ごしているそうです。

